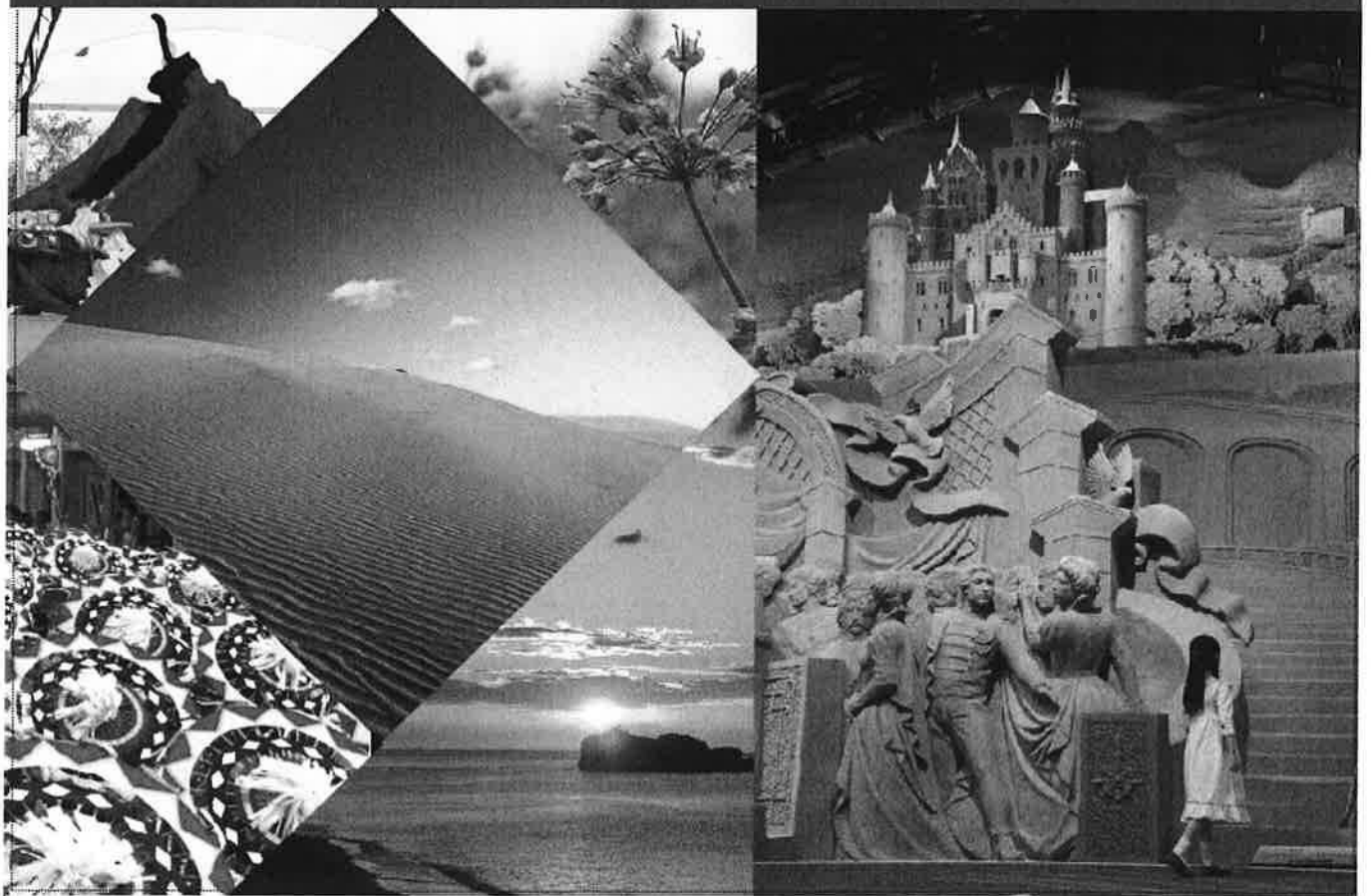


資料1-2

未定稿

鳥取市創生総合戦略

【素案】



鳥取市

目 次

第1章 総合戦略の基本的な考え方	1
第2章 総合戦略の位置づけ	
(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係	2
(2) 戦略期間	2
(3) 第10次鳥取市総合計画との関係	3
第3章 戦略の実現に向けた施策の推進	
I <u>次世代の鳥取市を担う 'ひとづくり'</u>	
(1) 教育の充実・郷土愛の醸成	4
(2) 結婚・出産・子育て支援	5
II <u>誰もが活躍できる 'しごとづくり'</u>	
(1) 地域経済の再生	7
(2) 地域資源を活用した産業全般の底上げ	7
(3) 人材の確保と育成強化	8
III <u>賑わいにあふれ安心して暮らせる 'まちづくり'</u>	
(1) 移住定住の促進	10
(2) 交流人口の拡大	10
(3) 住み良い環境づくり	11
第4章 施策の検証	13

第1章 総合戦略の基本的な考え方

本市は、人口減少対策にいち早く取り組み、企業誘致による雇用創出、U・J・Iターンの促進による移住者の増加など一定の成果をあげてきました。しかしながら、東京圏への人口の一極集中と地方の空洞化は一層進展しており、地域の課題解決の視点に立った地方創生の取組が求められています。

本市は、鳥取砂丘をはじめとする全国に誇れる豊かな自然環境を有し、海や山はもちろん、独自の歴史や文化が根づく中で、まちとむらがバランス良く共存するやすらぎにあふれた都市を形成しています。また、こうした環境の中で育まれる、ぬくもりのある充実した教育・子育て及び安心の医療・福祉も大きな魅力となっています。このほかにも、無料の高速道路「鳥取自動車道」の開通や鳥取砂丘コナン空港発着の「鳥取ー東京」間の1日5便化など、高速ネットワークの充実により大都市圏とのアクセスが格段に向上したことや災害被害の少ない立地環境にあることなど、暮らす上での魅力にあふれています。

反面、若者を中心とした定住や雇用・就業環境の確保、まちの賑わいづくりなどの課題を有しています。

鳥取市創生総合戦略では、多くの市民の皆さんのご意見を集約し、人口ビジョンで示した目標人口を上回るよう、次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’を中心に、誰もが活躍できる‘しごとづくり’、賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’を戦略の3つの柱に位置づけ、課題克服へとつなげる施策を積極的に実施し、多様なライフスタイルが叶う鳥取市の実現に向け、全国から選ばれるまちを目指します。

戦略の柱

- I 次世代の鳥取市を担う ‘ひとづくり’
- II 誰もが活躍できる ‘しごとづくり’
- III 賑わいにあふれ安心して暮らせる ‘まちづくり’



目指す将来像

いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、
自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市

第2章 総合戦略の位置づけ

(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

平成26年11月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を基本に、本市における人口減少の抑制に結びつく有効な施策を鳥取市創生総合戦略に位置づけます。

◆【参考】「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則（抜粋）

1 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

(1) 人口減少と地域経済縮小の克服

- ①人口の「東京一極集中」を是正する。
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望がかなう社会経済環境を実現する。
- ③地域の特性に即して地域課題を解決する。

(2) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

地方創生は「ひと」が中心であり、地方に「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、地方への人の流れが「まち」に活力を取り戻すという一体的な取組が必要となる。

①しごとの創生

「雇用の質」の確保・向上と産業の高付加価値化による「雇用の量」の確保・拡大

②ひとの創生

- ・若者の地方移住&就労と有用な人材の確保・育成
- ・結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援

③まちの創生

- ・安全・安心な環境の確保
- ・都市のコンパクト化・交通ネットワーク形成の推進
- ・広域的な機能連携

2 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

(1) 自立性

各施策が地域の構造的問題に対処し、地方公共団体等の自立につながること。

(2) 将来性

自主的・主体的に夢を持って前向きに取り組む施策であること。

(3) 地域性

客観的データに基づく実情分析・将来予測を踏まえ、地域の実態にあった施策を行うこと。

(4) 直接性

ひとの移転・しごとの創出・まちづくりを直接的・集中的に行い、最大限の成果を上げること。

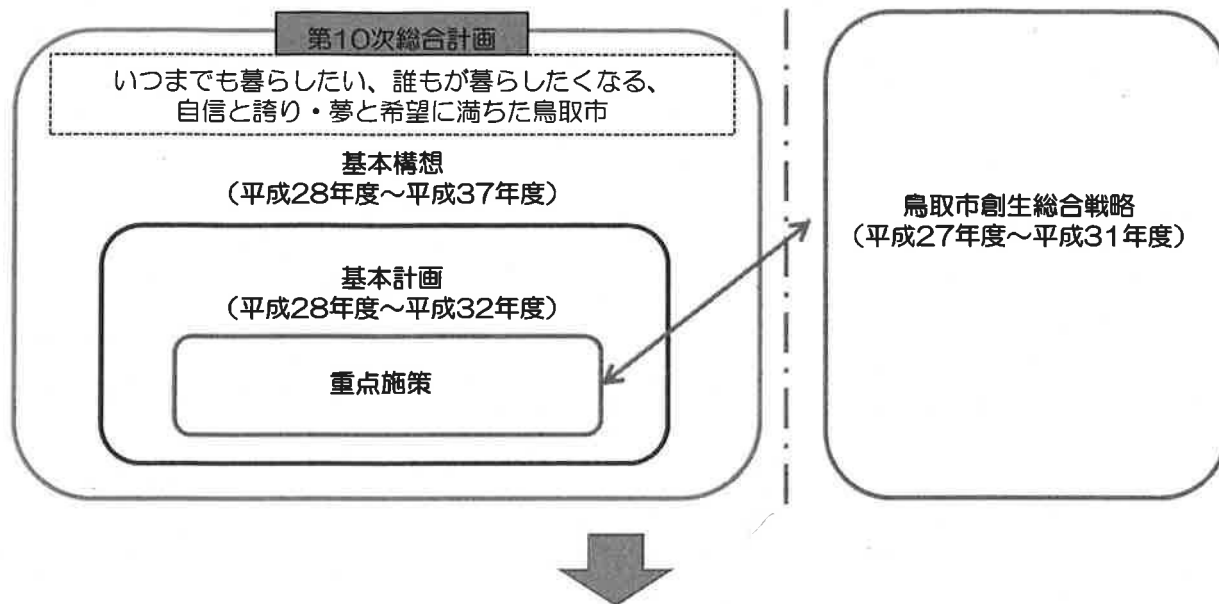
(5) 結果重視

明確なPDCAメカニズムの下に、短・中期的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、改善等を行うこと。

(2) 戦略期間

平成27年度から平成31年度 5年間

(3) 第10次鳥取市総合計画との関係



鳥取市創生総合戦略は第10次総合計画－基本計画の重点施策とします。

第3章 戦略の実現に向けた施策の推進

I 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’

1 基本目標

◇合計特殊出生率1.55（平成25年）→1.8（平成31年）の実現を目指します。

2 講ずべき施策に関する基本的方向

- ◇人間性豊かで思いやりがあり、郷土を大切にする子どもの育成を図ります。
- ◇次世代の人材確保を見据えた教育を推進します。
- ◇出会い・結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援を行います。
- ◇仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図ります。

☆印…今後、新たに取り組む施策

3 具体的な施策

（1）教育の充実・郷土愛の醸成

鳥取市で学びたい

	具体的な施策	基準値	目標値（KPI）
郷土愛を育む教育の推進	●まちづくり協議会のコミュニティ活動を通した「協働」の取組による人材の育成	●まちづくり協議会 :61団体(H27)	●まちづくり協議会 :61団体の維持
	☆●結婚や家族を持つことの素晴らしさを学ぶ妊娠・出産・子育てに対する教育の実践	●実施学校数 中学校:0校(H26)	●実施学校数 中学校:6校
	●小中学校兼務教員の配置など「ふるさとを思い、志をもつ子」の育成につながる特色ある中学校区の創造に向けた取組	●アンケート肯定評価割合 ・小学校5～6年:90% ・中学校1～3年:85% (H26)	●アンケート肯定評価割合 ・小学校5～6年:95% ・中学校1～3年:90%
	●小中学校、地区公民館等における山陰海岸ジオパークを生かした出前講座、学習会等の支援	●出前講座・現地研修参加者数:7,274人(H26)	●出前講座・現地研修参加者数:10,000人
	●「すごい！鳥取市」による魅力ある住みやすいまちの情報発信	●媒体広告換算:16倍 (H26)	●媒体広告換算:20倍以上 ●サポート制度登録者数:700人
次世代を見据えた特色ある教育の推進	●次世代を見据えた地域創造学校やICTの活用、英語教育の推進	●実施学校数 小・中学校:6校(H26)	●実施学校数 小・中学校:10校
	☆●グローバル人材の育成に向けた英語等に特化したモデル校の設置及び中学生の海外派遣	●実施中学校区数:0校 ●中学生派遣人数:0人 (H26)	●実施中学校区数:3校 ●中学生派遣人数:10人
	●留学生の就職支援による企業の国際化と競争力の強化及び高度外国人材の定着化	●セミナーへの留学生参加者数:28名(H26)	●セミナーへの留学生参加者数:30名

具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
次世代を見据えた特色ある教育の推進 ★ ●鳥取大学を拠点大学に公立鳥取環境大学などと連携した学卒者の雇用創出と就職率向上にむけたCOC+の推進 ★ ●鳥取市医療看護専門学校生を対象とした奨学金補助制度の創設による看護師の定住支援	●公立鳥取環境大学・鳥取大学県内就職率:25.7% (H25)	●公立鳥取環境大学・鳥取大学県内就職率:28.3% ●鳥取市医療看護専門学校卒業生10%の市立病院就職

(2) 結婚・出産・子育て支援

鳥取市で暮らしたい

具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
新たな出会いの創出と結婚支援 ●「すごい！鳥取市婚活サポートセンター」やまちづくり団体による出会い創出から結婚に至るトータルサポートの実施	●成婚者数:0件 (H26)	●成婚者数:60件
妊娠・出産への包括的支援 ★ ●妊産婦等の支援ニーズに応じた ・全妊婦の相談支援 ・妊産婦の相談支援 ・乳児一時預かり ・母子ショートステイ ★ ●産後デイサービスの開設 ●不妊治療及び不育症治療等の治療費一部助成	●全妊婦相談支援:1,718件 ●妊産婦の相談支援:全妊婦相談支援の2割 ●乳児一時預かり:20件 ●母子ショートステイ:1件 ●産後デイサービス開設:無 (H26) ●特定不妊治療助成対象者:176人 (H26) ●一般不妊治療助成対象者:69人 (H26) ●不育症治療:無	●全妊婦相談支援:1,750件 ●妊産婦の相談支援:全妊婦相談支援の2割 ●乳児一時預かり:60件 ●母子ショートステイ:6件 ●産後デイサービス開設:1か所 ●治療費助成を継続し、子どもを産み育てる環境づくりを進めます。
待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実 ●待機児童ゼロの継続を見据えた民間参入による地域型保育園の開園 ●放課後児童クラブ・放課後子ども教室による児童の健全な発達促進 ★ ●病児・病後児保育、保護者疾病時等の児童の生活支援及び保護者の勤務に対応した保育の実施	●地域型保育園開園数:2園 (H27) ●放課後児童クラブ数:47 ●放課後子ども教室数:3 ●放課後児童クラブ・放課後子ども教室の連携型又は一体型サービス実施箇所数:0箇所 (H26) 利用者延べ (H26) ●延長保育:77,347人 ●一時預かり:4,603人 ●休日保育:381人 ●病児病後児保育:1,561人 ●ショートステイ延べ日数:631日 (H26) ●トワイライトステイ延べ日数:91日 (H26) ●児童の日中一時預かり延べ日数:無 (H26)	●地域型保育園開園数:4園 ●放課後児童クラブ数:57 ●放課後子ども教室数:3 ●放課後児童クラブ・放課後子ども教室の連携型又は一体型サービス実施箇所数:3箇所 ●延長保育・一時預かり希望される方のニーズ量の提供に努めます。 ●休日保育:400人 ●病児病後児保育:2,000人 ●ショートステイ延べ日数:700日/年 ●トワイライトステイ延べ日数:250日/年 ●児童の日中一時預かり延べ日数:50日/年

	具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実	 ●<u>子育て世帯向け優良賃貸住宅の供給などライフスタイルに適應した住宅の供給</u>	-	●供給実態を把握した上で、ライフスタイルに適應した住宅供給を目指します。
	●子育て世帯の保育料の軽減	(H27) ●第3子以降保育料:1/3 ●同時在園の2人目保育料:1/2	●第3子以降保育料:無料 ●同時在園の2人目保育料:1/4
	 ●<u>小児特別医療の高校卒業時までの実施</u>	●中学生(15歳年度末) 対象者:29,727人(H27)	●高校生(18歳年度末) 対象者:35,331人
仕事と生活の調和の推進	●再就職支援のための職場復帰・キャリアアップ研修の開催 ●ワーク・ライフ・マネジメントセミナーの開催と広報啓発による更なる考え方の普及促進	●再就職雇用人数:6人(H26) ●参加事業所数:0社	●再就職雇用人数:50人 ●参加事業所数:30社以上

Ⅱ

誰もが活躍できる ‘しごとづくり’

1 基本目標

- ◇5年間（平成27年～31年）での雇用創造目標数5,000人以上を目指します。
- ◇5年間の企業誘致数（補助事業指定企業件数）75件を目指します。

2 講すべき施策に関する基本的方向

- ◇安定した雇用の創出に向け、人材確保と正社員化の支援を進め、所得向上が図れる地域経済の構築を目指します。
- ◇地域経済分析システム「RESAS」を活用し、産業・企業等の動向を分析し、戦略的な企業誘致を推進します。
- ◇6次産業化・農商工連携等による地域資源を活用した産業全般の底上げを図ります。
- ◇成長産業の新たな事業展開や起業・創業など、企業活動の活性化を図ります。

3 具体的な施策

（1）地域経済の再生

鳥取市で働きたい

具体的な施策	基準値	目標値（KPI）
成長産業の振興	●電力の開発支援及び小売を実践する市出資会社の設立による分散型エネルギーインフラプロジェクトの推進	●実施事業:0件(H26)
	●特産品のブランド化・高付加価値化の推進と新たな加工食品開発など食品加工産業の育成	●実施事業:10件
工業の振興	●産業構造の高度化及び雇用の拡大につながる企業誘致の推進	●支援事業者:2件(H26)
	●鳥取県東部地域企業誘致推進連絡会設立によるPRツール及び補助金制度の創設等	●補助事業指定企業件数:20件(H26)
		●補助事業指定企業件数:75件以上
		●合同企業誘致活動:1件/年

（2）地域資源を活用した産業全般の底上げ

鳥取市で働きたい

具体的な施策	基準値	目標値（KPI）
農林水産業の振興	●農商工連携による高付加価値加工品の開発・販売と海外輸出の推進	●マッチング支援事業者:21件(H26)
		●取組事例数:2件(H26)
	●鳥取地どり、地域冠米など推進品目の生産拡大と品質向上及び販路拡大・新商品開発	●マッチング支援事業者:100件
	●推進品目総数:0	●取組事例数:5件/1年当
	●ライセンサー整備数:1件/年	●推進品目総数:14
	●鳥取地どり処理羽数7,000羽(H24～26平均)(H26)	●ライセンサー整備数:1件/年を維持
		●鳥取地どり処理羽数:8,000羽
★市国際経済発展協議会と連携した高付加価値の輸出ルート確保		
★輸出専門の農業生産法人の設立支援	●取引契約社数:0社(H26)	●取引契約社数:10社
●県外からの輸出企業の受入支援		

	具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
農林水産業の振興	●農産物を活用し商品開発・確保を行う企業と大規模農家・JA等とのマッチングの実現	-	●大手企業とのマッチング件数:1件
商業・サービス業・観光産業の振興	●商業者等による販売促進、新商品開発、ニーズ調査及び環境整備等の支援	●中心市街地新規開業数:27店舗(H26)	●中心市街地新規開業数:100店舗
	●販路拡大及び輸入・生産拡大等に対する初期費用の一部及びビジネスマッチングなど中小企業の海外展開支援	●海外での展示会参加企業:5社(H26)	●事業実施企業:30社
	●教育旅行、各ツーリズムに対応した情報発信、環境整備と新たな観光商品開発、販路開拓支援	●鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:293万人(H25)	●鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:320万人(H30)
	●道の駅相互の連携強化に向けた施設整備と特産物や観光資源を生かした雇用の創出	●道の駅利用者数:874,612人(H23~25平均)	●道の駅利用者数:1,000,000人

(3) 人材の確保と育成強化

鳥取市で働きたい

	具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
人材育成・確保の推進	●移住支援相談員と連携した県外在住者への情報発信及び市内大学等への企業PR	●県外からの転入・就職者数:10人(H26)	●県外からの転入・就職者数:55人
	●市内企業への就職希望者に対する奨励金等の支給	-	●就職者数:50人
	●伝統工芸技術の伝承を目的とした後継者の受入を行う事業者と研修者への支援	●後継者:4人(H26)	●後継者:10人
	★ <u>●大学生の地区公民館配置など若い感性を取り入れた市民参画活動の積極的な推進</u>	●地区公民館のインターンシップ受入数:0人(H27)	●地区公民館のインターンシップ受入数:10人/年
	●とっとり若者インターンシップ等による求職者と事業者のマッチング支援	●インターンシップ事業の就職率:79.7%(H26)	●インターンシップ事業の就職率:80%以上
	●市シルバー人材センターの運営支援による高齢者の就業確保と雇用の拡大	●会員数:724人(H26)	●会員数:900人
次世代を見据えた新規創業・就農等の充実	●クラウドファンディング、創業チャレンジサポートなど起業のまち「鳥取」創造プロジェクトの推進	●創業件数(H26):65件(市関与分)	●創業件数:500件

	具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
次世代を見据えた新規 創業・就農等の充実	●とっとりふるさと就農舎等を通じた新規就農者の育成確保と就農定住に対する支援	●農業体験事業:7名(H26) ●親元就農:2人(H26)	●研修生(18歳～概ね40歳までの者)の確保:3人/年
	●生活支援や農地賃借料・家賃の助成	●農地賃借料:24人(H26) ●住居家賃助成:6人(H26)	●新たに新規就農する者:9人/年
	●機械施設等の整備に対する支援	●就農条件整備事業:6人(H26)	●新たに経営継承する者:2人/年

1 基本目標

- ◇1年あたりの移住定住者数200人以上を目指します。
- ◇鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数320万人を目指します。
- ◇平成30年4月、中核市への移行を目指します。

2 講すべき施策に関する基本的方向

- ◇移住定住の促進に向け、情報発信、マッチング支援を戦略的に行うとともに、受入体制の充実を図ります。
- ◇地域経済分析システム「RESAS」による観光人口の分析に基づき、独自ブランドを生かした交流人口の拡大と戦略的なシティセールスを一体的に展開します。
- ◇中山間地域、中心市街地等の活性化を進め、快適で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- ◇健康で住み良い暮らしの実現を目指します。
- ◇広域連携及び自治体間連携の推進を図ります。

3 具体的な施策

(1) 移住定住の促進

鳥取市で暮らしたい

具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
人材誘致・定住促進の充実	●定住促進・Uターン相談窓口及び移住定住相談員による相談対応、情報提供の充実等 ●「すごい！鳥取市」による田舎暮らしなど移住定住情報の発信	●移住定住者数:351人(H26) ●媒体広告換算:16倍(H26) ●移住定住者数:200人以上(1年あたり) ●媒体広告換算:20倍以上 ●サポート制度登録者数:700人(H31)
移住定住に対する受入体制の充実	●空き家情報バンクによる登録及び賃貸・売却希望者から希望者への斡旋 ●空き家の適正な管理による不動産の流通促進と老朽危険空き家の未然防止 ●自然の中で田舎暮らしをお試し体験できる施設の整備	●空き家情報バンク登録件数:19件(H26) ●空き家情報バンク登録件数:50件以上 ●空き家情報バンク情報提供件数:1件(H26) ●空き家情報バンク情報提供件数:20件以上 ●空き家運営業務受託数:1地域(H26) ●空き家運営業務受託数:5地域以上 ●お試し体験住宅開設数:8件(H27) ●お試し体験住宅開設数:10件

(2) 交流人口の拡大

鳥取市で楽しみたい

具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
「砂の美術館」の充実・強化と「砂像のまち鳥取市」の推進	●砂の美術館における砂像の制作及び集客イベント、各種環境の整備 ●県内外における砂像の制作を通じた誘客促進	●砂の美術館入館者数:46万人(第7期展示) ●砂の美術館入館者数:50万人(一展示あたり)

具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
山陰海岸ジオパークを生かした取組の推進	●ロゴマーク商品造成:8件/(H26) ●鳥取砂丘ジオパークセンター入込客数:98,452人(H26)	●ロゴマーク(ブランド)商品の造成:10件 ●鳥取砂丘ジオパークセンター入込客数:100,000人
国際観光の推進	●外国人観光客の受入体制の整備、広報・誘客活動の実施	●国際観光客サポートセンター利用者数:5,200人(H26) ●国際観光客サポートセンター利用者数:7,000人
文化芸術を生かした個性あるまちづくりの推進	●文化施設等と連携した文化芸術環境の創出及びことり舎、鳥の劇場など民間団体の活動支援 ●手仕事の作家の移住推進による工芸村の開設	●文化芸術事業(市補助分)の観覧者数:54,445人(H25) ●文化芸術事業(市補助分)の観覧者数:72,000人 ●地域、鳥取県、鳥取商工会議所などと連携し、工芸村の開設を目指します。
「すごい!鳥取市」による知名度アップ大作戦の積極展開(再掲)	●WebやTV等による情報発信及びWi-Fiなど環境整備 ●進学者等の市内就職情報を配信するサポート制度の構築	●媒体広告換算:16倍(H26) ●媒体広告換算:20倍以上 ●サポート制度登録者数:700人

(3) 住み良い環境づくり

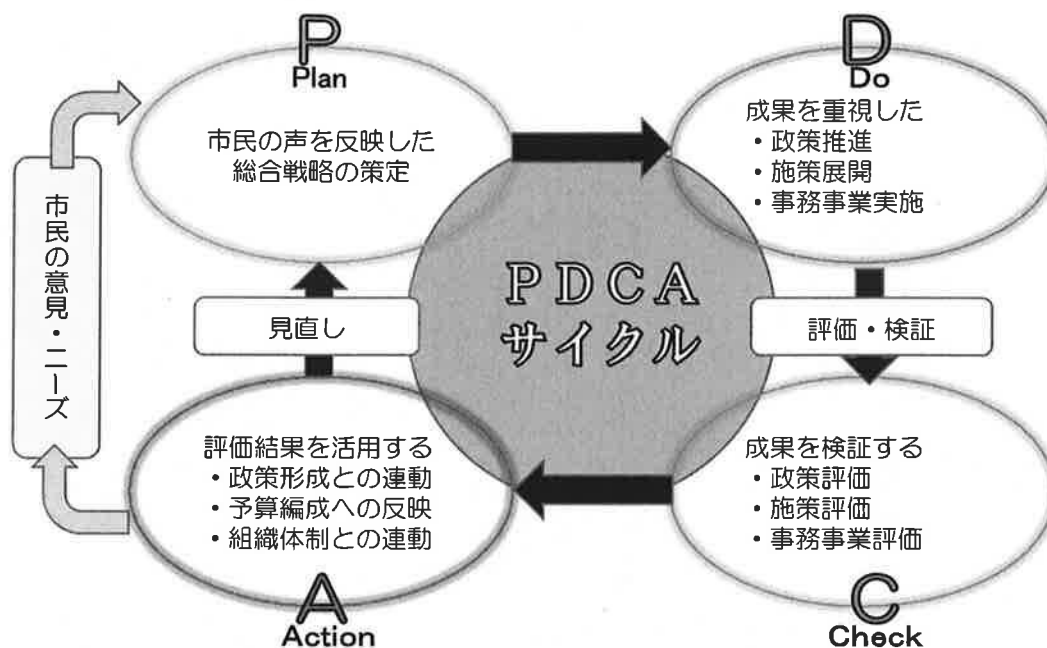
鳥取市で暮らしたい

具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
健康寿命の延伸につながる住み良い暮らしの実現	●介護・医療分野の企業と連携したサービス付きのバリアフリー構造住宅の新設 ●在宅医療・介護連携の推進 ●認知症施策の推進 ●生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進 ●住まいとサービスの確保による地域包括ケアの推進 ●駅南庁舎への保健所設置を踏まえた福祉保健、健康子育て機能と連携した総合支援拠点の形成	●都市部高齢者の受入数:80人 ●地域包括ケアシステムの構築による切れ目ない支援を推進します。 ●駅南庁舎整備
魅力ある中山間地域の振興	●買い物支援の取組を開始する者の起業・運営等の支援 ●空き店舗・校舎・倉庫等を活用した取組の支援 ●とっとりふるさと元気塾開設による商品開発及びリーダーの養成等	●買い物に不便を感じている無店舗地区数:5地区(H27) ●買い物に不便を感じている無店舗地区数:0地区 ●取組件数:2件(H26) ●取組件数:5件(5年間) ●リーダー認定者数:141人(H26) ●リーダー認定者数:250人以上
多極型・コンパクトな都市環境を生かした安全なまちづくりの推進	●自治会による地域力向上に向けた活動の支援とコミュニティの充実強化	●支援事業数:466件(H26) ●支援事業数:520件

	具体的な施策	基準値	目標値 (KPI)
多極型・コンパクトな都市環境を生かした安全なまちづくりの推進	●地域生活拠点における地域課題に沿った施策の推進 ●市街地の都市機能・居住誘導施策の検討・構築	(H27) ●地域生活拠点形成数:2 ●立地適正化計画策定、都市計画マスタープラン見直し	●地域生活拠点形成数:8 ●立地適正化計画に基づく都市機能・居住誘導施策の制度化:1件
	●自主防災会の活動支援及び防災体制の整備 ●消防団活動の充実強化	(H27) ●自主防災会組織率:95% ●消防団員数充足率:97%	●自主防災会組織率:100% ●消防団員数充足率:100%
	●公園や園庭、校庭等の芝生化や緑化の推進	●芝生化数:102箇所(H26)	●芝生化数:150箇所(5年後)
中心市街地の活性化	●賑わい創出等に取り組む人材の育成等に対するイベント等の開催支援 ●鳥取駅南北の回遊性の向上と交流空間の創出	中心市街地における歩行者・自転車通行量 ●平日:17,338人(H26) ●休日:17,407人(H26) ●新規開業数:27店舗(H26)	中心市街地における歩行者・自転車通行量 ●平日:18,200人 ●休日:18,200人 ●新規開業数:100店舗【第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画】
	●空き家の改修補助及び住まいの総合相談窓口の設置と情報発信	●中心市街地の居住人口(転入者数-転出者数):25人(H22~H26平均)	●中心市街地の居住人口(転入者数-転出者数):5年間平均をプラスにします。
	●リノベーション手法による遊休不動産の再生・活用及び既存ストックのデータベース化	●遊休不動産の利活用件数:1件(H26)	●遊休不動産の利活用件数:15件以上
利便性の高い公共交通の確保	●バス路線の再編及び鉄道・タクシー・自転車など他の交通手段との連携の構築	●282万人(H25バス利用者実績)	●路線バス利用者数の減少抑制:年96%以内(直近5年平均96.1%)
	●鳥取砂丘コナン空港の利用促進に向けた官民連携組織によるプロモーション活動等の実施	●年間搭乗者数:28万人(H22~24平均)	●年間搭乗者数:35万人
広域連携及び自治体間連携の推進	●定住自立圏域での交通、観光、医療等の連携及び連携中枢都市圏の形成	●定住自立圏連携事業の推進(H27)	●中核市移行後、平成30年に連携中枢都市圏の形成を目指します。
	●鳥取県東部圏域をはじめとする近隣自治体等との連携による広域観光及び移住定住の推進	●鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:293万人(H25) ●移住定住者数:501人(H26)	●鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:320万人(H30) ●移住定住者数:2,505人

第4章 施策の検証

【PDCAサイクルによる施策の評価・検証】



戦略目標の実現に向け、長期的・重点的な課題として施策を展開し、次期総合計画を見据えた上で、成果を重視した検証を行います。

鳥取市創生総合戦略イメージ

鳥取市の魅力

豊かな自然

特色ある歴史・文化

充実した教育・子育て環境

待機児童ゼロ、放課後児童クラブ全校対応など安心の子育て・教育環境



高速ネットワークの充実

鳥取自動車道、鳥取-羽田5便化など充実した交通アクセス



災害被害の少ない立地環境

今後想定される地震等による災害被害が非常に少ない地域



安心の医療・福祉環境

充実した医療・福祉施設の配置で暮らしの安心をサポート



結婚・出産・子育て支援

企業誘致の推進

優秀な人材の確保

健康で住み良い暮らしの実現

次世代の鳥取市を担う 'ひとづくり'

誰もが活躍できる 'しごとづくり'

賑わいにあふれ安心して暮らせる 'まちづくり'

教育の充実・郷土愛の醸成

交流人口の拡大

移住定住の促進

協働のまちづくりの推進

安全なまちづくりの推進

優れた高等教育機関

公立鳥取環境大学・鳥取大学・鳥取市医療看護専門学校など優れた高等教育機関



特色ある独自ブランド

鳥取砂丘に代表されるブランド力の高い観光産業が魅力



まちとむらが共存するやすらぎの都市環境

まちとむらがバランスよく共存するやすらぎにあふれた都市環境が魅力



鳥取市で学びたい の実現【教育の充実・郷土愛の醸成・定住の促進】

鳥取市で暮らしたい の実現【出生率の向上・転出超過の抑制】

鳥取市で働きたい の実現【地域経済の再生・活性化】

鳥取市で楽しみたい の実現【交流人口の拡大】